

# 第3回 山鳥坂ダム環境モニタリング委員会

## 説明資料5

令和 6年 3月 8日

国土交通省 四国地方整備局  
山鳥坂ダム工事事務所

# 評価書作成時以降の現地調査で確認された重要種の環境影響について

## ■作業の目的

「肱川水系山鳥坂ダム建設事業 環境影響評価書（以下「評価書」）」作成時以降の現地調査等で確認された重要種について、各種レッドリスト等の更新や過去委員会での審議結果を踏まえて、環境影響の再確認を行った。

## ■作業内容

- (1) 評価書作成時以降の現地調査等で確認された種の整理
- (2) 新たに重要な種に該当する種の抽出
- (3) 新たに予測対象となる種の検討
- (4) 予測概要（案）の整理

## ■作業項目

項目	分類群
動物	哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、底生動物、クモ類、陸産貝類
植物	種子植物・シダ植物、付着藻類、蘚苔類、藻類、高等菌類

# 現地調査で確認された種数、重要な種の種数(動物)

項目	環境影響評価書作成時			環境影響評価書作成時以降の現地調査で確認された種を含めた整理		
	確認種数 (※1)	重要な種の種数 (※2)	予測対象種数	確認種数	重要な種の種数 (※3)	評価書以降新たに重要な種に該当する種
哺乳類	26種	4種	4種	27種	3種	1種
鳥類	134種	40種	36種	148種	44種	7種
爬虫類	13種	8種	8種	13種	9種	1種
両生類	11種	4種	4種	11種	8種	4種
魚類	43種	12種	11種	43種	21種	10種
昆虫類	2548種	14種	14種	2555種	44種	33種
底生動物	321種	8種	8種	339種	18種	9種
クモ類	226種	2種	2種	228種	3種	1種
陸産貝類	35種	3種	3種	49種	7種	4種
合計	3357種	95種	90種	3413種	157種	70種

※1：現在の分類体系で再集計しているため、項目によって評価書掲載種数と異なる場合がある。

※2：環境影響評価書作成時当時の重要種選定基準

※3：最新（2023年12月時点）の重要種選定基準

# 今回、予測評価を検討する種(動物)(1/3)

項目	評価書以降新たに重要な種に該当する種		これまでの委員会で審議済の種		今回検討対象とする種	
哺乳類	1種	テングコウモリ	1種	テングコウモリ	0種	—
鳥類	7種	シロエリオオハム、ヒクイナ、オジロワシ、ノスリ、ヤマセミ、ブッポウソウ、チゴモズ	2種	ノスリ、ヤマセミ	5種	シロエリオオハム、オジロワシ、ヒクイナ、ブッポウソウ、チゴモズ
爬虫類	1種	タカチホヘビ	1種	タカチホヘビ	0種	—
両生類	4種	ヤマアカガエル、ツチガエル、シュレーゲルアオガエル、カジカガエル	4種	ヤマアカガエル、ツチガエル、シュレーゲルアオガエル、カジカガエル	0種	—
魚類	10種	ゲンゴロウブナ、ワタカ、ハス、オイカワ、ホンモロコ、スゴモロコ、ギギ、ワカサギ、ニッコウイワナ、オオヨシノボリ	4種	オイカワ、ギギ、ワカサギ、オオヨシノボリ	6種	ゲンゴロウブナ、ワタカ、ハス、ホンモロコ、スゴモロコ、ニッコウイワナ

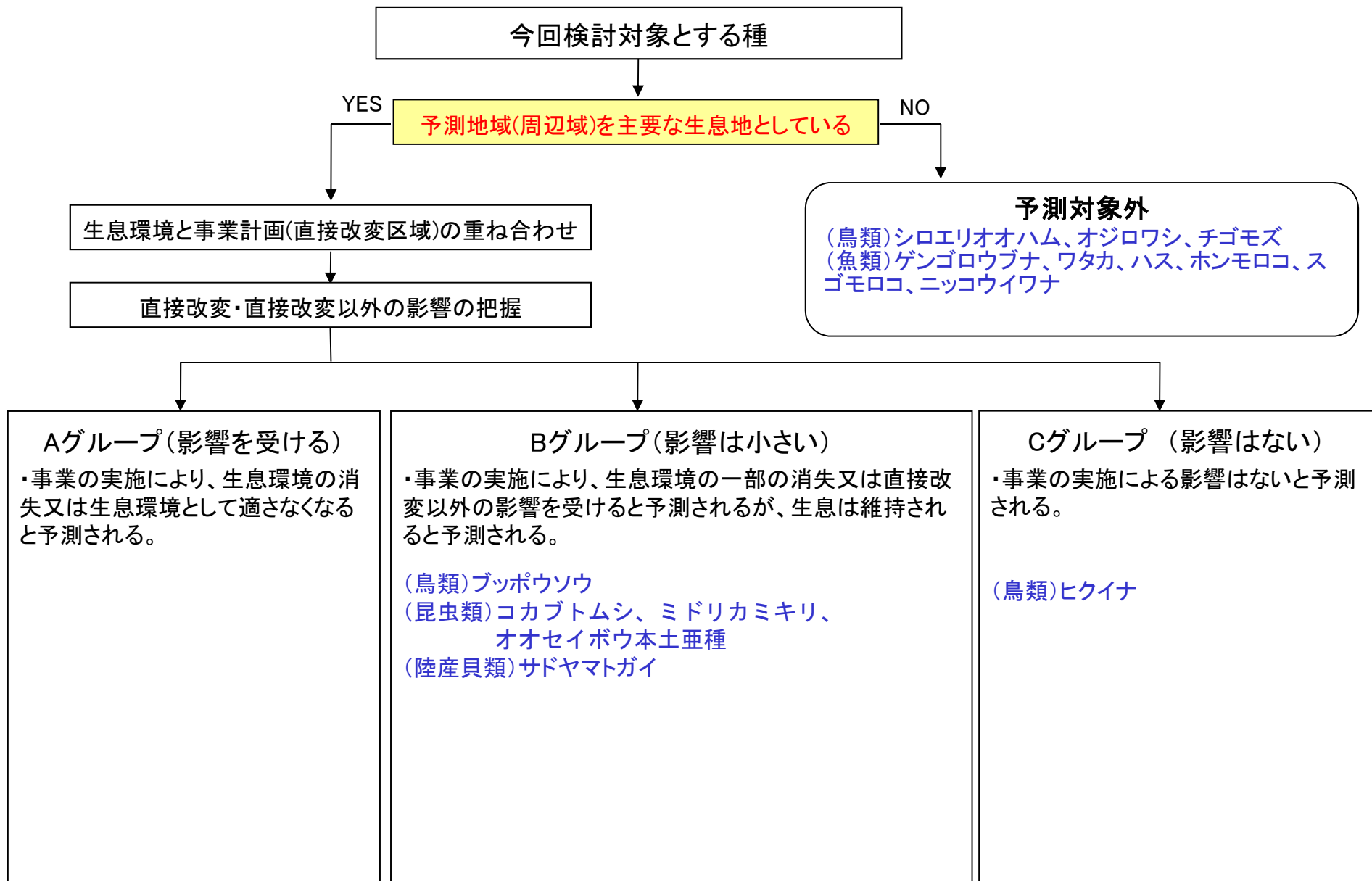
# 今回、予測評価を検討する種(動物)(2/3)

項目	評価書以降新たに重要な種に該当する種	これまでの委員会で審議済の種	今回検討対象とする種
昆虫類	<p>33種</p> <p>アジアイトトンボ、ヒメアカネ、クツワムシ、ヒメハルゼミ、キイロサシガメ、ホソマキバサシガメ、オオミノガ、ホソバセセリ、ミヤマチャバネセセリ、クモガタヒョウモン、キシヤチホコ、トビギンボシシャチホコ、ブナアオシャチホコ、ヤネホソバ、フタスジヒトリ、スゲドクガ、アオアトキリゴミムシ、オオヒラタアトキリゴミムシ、オオヨツアナアトキリゴミムシ、ミツアナアトキリゴミムシ、シイノキメクラチビゴミムシ、アイヌハンミョウ、コニワハンミョウ、シジミガムシ、コカブトムシ、コブナシコブスジコガネ、ヘイケボタル、ミドリカミキリ、トラフカミキリ、オオセイボウ本土亜種、トゲアリ、ヤマトアシナガバチ、モンズズメバチ</p>	<p>30種</p> <p>アジアイトトンボ、ヒメアカネ、クツワムシ、ヒメハルゼミ、キイロサシガメ、ホソマキバサシガメ、オオミノガ、ホソバセセリ、ミヤマチャバネセセリ、クモガタヒョウモン、キシヤチホコ、トビギンボシシャチホコ、ブナアオシャチホコ、ヤネホソバ、フタスジヒトリ、スゲドクガ、アオアトキリゴミムシ、オオヒラタアトキリゴミムシ、オオヨツアナアトキリゴミムシ、ミツアナアトキリゴミムシ、シイノキメクラチビゴミムシ、アイヌハンミョウ、コニワハンミョウ、シジミガムシ、コブナシコブスジコガネ、ヘイケボタル、トラフカミキリ、トゲアリ、ヤマトアシナガバチ、モンズズメバチ</p>	<p>3種</p> <p>コカブトムシ、ミドリカミキリ、オオセイボウ本土亜種</p>

# 今回、予測評価を検討する種(動物)(2/3)

項目	評価書以降新たに重要な種に該当する種		これまでの委員会で審議済の種		今回検討対象とする種	
底生動物	9種	ハブタエヒラマキガイ、マシジミ、ミヤマサナエ、タベサナエ、エゾトンボ、キボシケシゲンゴロウ、シマゲンゴロウ、キベリマメゲンゴロウ、シジミガムシ	9種	ハブタエヒラマキガイ、マシジミ、ミヤマサナエ、タベサナエ、エゾトンボ、キボシケシゲンゴロウ、シマゲンゴロウ、キベリマメゲンゴロウ、シジミガムシ	0種	—
クモ類	1種	コガネグモ	1種	コガネグモ	0種	—
陸産貝類	4種	サドヤマトガイ、トサギセル、ヒメカサキビ、サドタカキビ	3種	トサギセル、ヒメカサキビ、サドタカキビ	1種	サドヤマトガイ

# 予測概要(動物)(案)





# 現地調査で確認された種数、重要な種の種数(植物)

項目	環境影響評価書作成時			環境影響評価書作成時以降の現地調査で確認された種を含めた整理		
	確認種数(※1)	重要な種の種数(※2)	予測対象種数	確認種数	重要な種の種数(※3)	評価書以降新たに重要な種に該当する種
種子植物・シダ植物	1147種	64種	45種	1234種	94種	29種
付着藻類	267種	0種	0種	327種	0種	0種
蘚苔類	194種	4種	4種	200種	5種	1種
藻類	2種	2種	1種	2種	2種	0種
高等菌類	260種	4種	4種	261種	2種	1種
合計	1870種	74種	54種	2024種	103種	31種

※1：現在の分類体系で再集計しているため、項目によって評価書掲載種数と異なる場合がある。

※2：環境影響評価書作成時当時の重要種選定基準

※3：最新(2023年12月時点)の重要種選定基準

# 今回、予測評価を検討する種(植物)(1/2)

項目	評価書以降新たに重要な種に該当する種	これまでの委員会で審議済の種	今回検討対象とする種
種子植物・シダ植物	<p>29種</p> <p>イワヤシダ、イワヒトデ、セトヤナギスブタ、ホッスモ、ヒナノシャクジョウ、チャボホトトギス、シラン、ハルザキヤツシロラン、アケボノシュスラン、シュスラン、ムヨウラン属の一種、フウラン、カヤラン、ヒメコウガイゼキショウ、メアオスゲ、ミズキカシグサ、タチハコベ、ヤマゴボウ、マルミノヤマゴボウ、ヘツカニガキ、アイナエ、イガホオズキ、マルバノサワトウガラシ、シソクサ、イワヨモギ、タウコギ、コバナガンクビソウ、イズハハコ、オカオグルマ</p>	<p>25種</p> <p>イワヤシダ、イワヒトデ、セトヤナギスブタ、ホッスモ、ヒナノシャクジョウ、ハルザキヤツシロラン、アケボノシュスラン、シュスラン、ムヨウラン属の一種、フウラン、カヤラン、ヒメコウガイゼキショウ、メアオスゲ、ミズキカシグサ、タチハコベ、ヤマゴボウ、マルミノヤマゴボウ、アイナエ、イガホオズキ、マルバノサワトウガラシ、シソクサ、タウコギ、コバナガンクビソウ、イズハハコ、オカオグルマ</p>	<p>4種</p> <p>チャボホトトギス、シラン、ヘツカニガキ、イワヨモギ</p>

# 今回、予測評価を検討する種(植物)(2/2)

項目	評価書以降新たに重要な種 に該当する種		これまでの委員会で審議済の種		今回検討対象とする種	
	種数	種名	種数	種名	種数	種名
付着藻類	0種	—	0種	—	0種	—
蘚苔類	1種	ウキウキゴケ	1種	ウキウキゴケ	0種	—
藻類	0種	—	0種	—	0種	—
高等菌類	1種	クロヒメオニタケ	1種	クロヒメオニタケ	0種	—

# 予測概要(植物)(案)

